

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 217



* 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 鹿児島県の徳之島に特攻の飛行場があったと聞いた。
どのような飛行場だったのか知りたい。

答) **全資料** → **徳之島** **特攻** と入力して検索 → 12件ヒット

『特集 写真で見る戦時下の徳之島』(219.7/A42 閉架)

『萬世飛行場と太平洋戦争』(395.3/Sa58 閉架)

『孫たちへの証言 第19集』(916/F85/1 閉架)

『海鷲』(916/U64 閉架)

徳之島の飛行場は「陸軍^{あさま}浅間飛行場」という名称だったことがわかりました。
別のキーワードを使って調べてみましょう。

全資料 → **徳之島** **浅間** と入力して検索 → 4件ヒット

『記憶の証人』(219.7/Mi37 閉架)

『奄美戦時下米軍航空写真集』(291/To79 閉架)

陸軍浅間飛行場は、現在の徳之島空港の東側にありました。
当時の滑走路の面影は、今も天城町内を走る「平和通り」(写真左下)に見受けられます。
平和通りの北端には「特攻・平和慰霊碑」(写真右下)が建てられています。



図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等は、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



チキンラーメン 60周年



NHKの朝の連続テレビ小説「まんぷく」の視聴率が好調のようです。「まんぷく」は「チキンラーメン」を生み出した安藤百福（ももふく）とその妻・仁子（まさこ）の人生がモデルのドラマです。何度困難に直面しても、あきらめずに立ち上がる夫婦の姿から明るさや勇気ももらっている人もたくさんいらっしゃるでしょう。

めんにお湯を注いで丼にフタをすれば2分でできる魔法のラーメン、チキンラーメンの発売年は昭和33年（1958）です。発売当初の価格は35円で、うどん1玉が約6円、乾めんが約25円だったことを考えると、高価な食品でした。そのため問屋からの反応はかんばしくなかったようです。しかし事前に梅田の阪急百貨店で試食販売をした際、用意した500食があつという間に無くなったことから、百福はこの商品は売れると確信を持ちます。商品を店に置いてもらうと、すぐに消費者からの注文が殺到するようになりました。初めは販売に及び腰だった問屋も、工場の出口に並んで製品を待つほど爆発的な人気でした。そしてチキンラーメンは発売年には1300万食を売り、4年後には10億食が販売されるまでになります。

チキンラーメンにはビタミンBやコラーゲンが添加されており、昭和35年に厚生省から「特殊栄養食品」の認可を受け、「最高の栄養と美味を誇る完全食」としてまさに国民食となります。調理が手軽で万人受けするチキン味は、大人から子どもまでをとりこにしました。『昔遊び図鑑』（開架384.5/Sa32）p.69には昭和27年生まれの著者が小学3年生でチキンラーメンを初めて食べた時の衝撃が書かれています。

また、チキンラーメンは家族の協力なしには生まれませんでした。仁子が天ぷらを作っているのを見て、百福はめんを油で揚げることを思いつき、子どもたちが包装を担当し、当初は家族総出で一日に400食を作りあげていました。

チキンラーメンは現在でも改良を続けており、最近はめんに生卵を落とすための「Wたまごポケット」というくぼみが作られており、さらにそのくぼみは黄身ポケットと白身ポケットの2段になっていて、卵がより乗せやすく黄身もきれいに丸く乗るようになっています。発売から60年が経過しても、まだまだ進化しつづけるチキンラーメン、皆さんも食べてみてはいかがでしょうか。

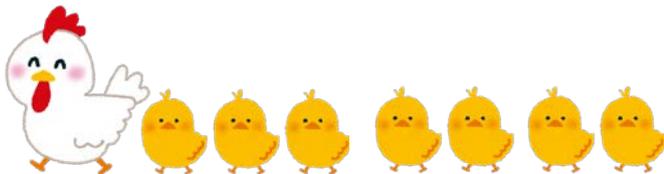
参考文献

『安藤百福』開架289/A47

『日本懐かし即席めん大全』開架588/Y31

『こだわりのロングセラー』開架675/I93

『昔遊び図鑑』開架384.5/Sa32



ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 217

2018年11月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1